

# 国語科

## テーマ

### 「一人一人の思考の深まりを目指した ICT 活用授業」

#### 1 本時の学習のねらい

「1 学年 ダイコンは大きな根?」「1 学年 『言葉』を持つ鳥、シジュウカラ」

- ・文章の構成や展開、表現の効果、グラフ等の資料の取り上げ方について、根拠を明確にして考えることができる。(思考力、判断力、表現力等)

「1 学年 大人になれなかった弟たちに…」「1 学年 星の花が降るころに」

- ・場面の展開や人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えることができる。(思考力、判断力、表現力等)

「2 学年 短歌を味わう」

- ・短歌の構成や表現の効果について考え、発表し合うことができる。(思考力、判断力、表現力等)

「3 学年 歌合わせをしよう～語句や表現の工夫に着目し、和歌の魅力を説明する～」

- ・効果的な語句の使い方や表現の工夫に着目して和歌に読み、それらの工夫がどのような効果をあげているかを和歌の一節を引用して説明することができる。(思考力、判断力、表現力等)

#### 2 研究への取り組み

- ・「気づきメモ」を使って、各自が気付いた文章の構成や展開、表現の効果、グラフ等の資料の取り上げ方の工夫について交流し、共有する。
- ・作品の中で自分が感じた疑問について描写をもとに考え、発表ノートにまとめることで、場面の展開や人物の相互関係、心情の変化などを捉える。
- ・ICT 機器の活用により、グループワークや発表活動に意欲的に取り組ませ、様々な角度から短歌の魅力に気付かせる。
- ・「恋」や「季節の訪れ」など同じテーマで詠まれた複数の和歌を対決させる。その際、ICT 機器を使ったプレゼンテーションをすることにより、自分たちが見つけた和歌の魅力を相手意識、目的意識をもって伝えられるようにする。

#### 3 主な学習活動

|                 | 主な学習活動と活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等                                                                                                   |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| グループワーク<br>発表活動 | ① 「発表ノート」を活用し、グループ毎にまとめる。<br>② 「電子黒板」を活用しながら発表活動を行い、各グループが見つけた表現の工夫や作者の心情を発表し合い、交流する。<br>③ 「発表ノート」「気づきメモ」を活用し、それぞれの意見を共有・交流する。 |
| 定着、学力<br>向上の確認  | CBT テスト (Qubena) を活用し、確認テストに取り組み、自分で「知識・技能」にかかわる力を理解しているのか（特に文法や語句等）や変容を確認する。                                                  |

#### 4 授業の実践より ～ICT 活用の効果と課題～

## ○成果

• 1 学年

まなびポケットの発表ノートや、「気づきメモ」を活用して、それぞれの意見を交流することができた。挙手発言では時間等の制限があったり、自信がなく発言できなかったりして取り上げられない意見も、ICTを活用することで、全体で共有することができる点は大きな利点と感じている。

また、全体の場合では、実際に発言することにも大きな意義があるが、文字として残ることで評価の材料としても有効であることを確認することができた。

• 2 学年

「電子黒板」の活用により、自分たちが調べた短歌について、表現の工夫や魅力、込められている作者の心情を視覚的にクラスメートに伝えることができた。そのことで、自分たちが調べなかった短歌についても交流し合い、深く理解することができた。また、キーワードとなる言葉を強調しわかりやすく伝えるためにはどのような言葉を選択するか、考える様子が見られた。

• 3 学年

最終的にプレゼンを聞き手が投票して勝敗を決定するということで、気付いた和歌の魅力の中から何をどのように伝えればいいのか（効果的な表現やその効果）吟味する姿が見られた。

## ●課題

• 1 学年

ICTを活用しない場合と比べ、話し合ったり、相談したりする場面が減ってしまう。また、色やフォントなど見栄えにとらわれて、本質的なことについてじっくり考える時間が減ってしまう。

• 3 学年

1枚のスライドに多くの情報を盛り込み過ぎるきらいがある。相手にわかりやすく伝えるためには、スライドに載せる情報と、口頭で説明する情報を整理させていく必要があることに気付かせていく。

## 5 ICT を効果的に活用するポイントなど

プレゼンテーションのシートを作るにあたって、ある程度様式を決めてサンプルを示すと、生徒もイメージができると感じた。また、発表を聞くためのワークシートを準備したことで、メモを取りながら真剣に聴く姿が見られた。

